

HIRAO NEWS



'21.1月号 -Vol.17-

協力工事

南川原防潮堤 完成しました！



着工前



完成



福島浜通りの沿岸には、平尾工務店が携わった作品が数多くあり、これからも増え続けます。福島にご来県の際は、是非ご覧ください。
(現場担当者より)

今回の現場はこちら！



現場名：林地荒廃防止施設災害復旧3001工事

工期：平成30年 7月30日 ~ 令和 2年12月25日

工事内容：平成23年の東北地方太平洋沖地震により

被災した治山施設（防潮堤工・護岸工）を復旧し、保安林機能の回復を図る工事です。

おっかれさまでいた!

No.1



現場担当者にインタビューしました！



—どの作業工程が一番大変でしたか？



(担当A) 消波ブロックも無く、仮設鋼矢板のみで堤防掘削を開始しました。

海と河川に挟まれた場所で、**自然水位-3.5mを掘削する作業での水処理に気を使いました。**

隣接する防潮堤は基礎掘削で難航し、設計の基礎の高さを変更して1.0~1.5m上げていました。



—現場で工夫した点はなんですか？



(担当A) 堤防掘削の際に発生する**玉砂利をふるい集積し、水処理排水材に流用した**ことです。

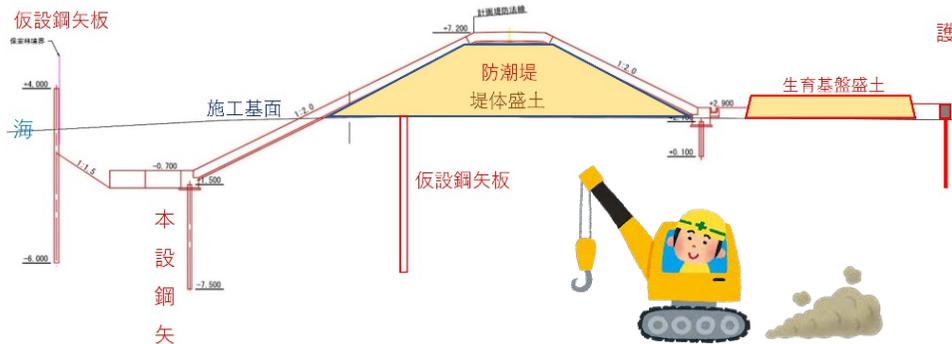


(担当B) 当初、協議による設計変更は認められなかった止水目的の仮設鋼矢板を増設させる

ため、担当監督員と打合せをしました。**中間検査日に合わせ試掘を実施し、本庁の検査員の方に現場を見ていただきました。その結果、担当監督員の働きもあり設計変更が認められました。**

当現場に従事していただいた自社技術・作業員の皆さん、ありがとうございました！

『横断面図面(A工区)』



※
防潮堤工事の**横断面図面**です。
工程について、次のページで
詳しく説明していきます！

※横断面図とは横に
たち切った図面のこと。



NEXT
PAGE

防潮堤工



① 防潮堤掘削での止水目的の仮設鋼矢板を設置します。



② 掘削中に想定以上の湧水、出水で掘削不可能となり、背面部に鋼矢板を増設しました。



③ 掘削後、防潮堤本体の本設鋼矢板を打設します。



④・⑤ 基礎、根固めブロックを設置後、堤防被覆工へ移ります。



⑥ 仮設鋼矢板②を引抜き、堤体盛土を開始します。



⑦・⑧ 盛土が完了した後に被覆工、天端被覆工を施します。

※ 天端とは、構造物の最上部の面になっている部分のこと。ダムや堤防の最も高い位置で水平になっている部分を指すことが多い。



盛土工(B工区)



中州全域(A・B工区)に防災林盛土を行います。
土量は大型ダンプ約10,085台分でした。

護岸工



1. 前田川からの浸食を防止するため、鋼矢板 (ハット10H) L=9.5m 170枚を打設。
2. 全長(L=367.5m)に渡り、頭部コンクリートを施します。



取材にご協力いただき、ありがとうございました！
海や河川での作業では、鋼矢板がとても重要な役割をしていることが分かりました。
止水だけではなく、浸食防止にも使われているんですね！



来月の
行事日程

- 2/1 祈願祭
- 2/3 安全衛生委員会
- 2/11 建国記念の日
- 2/23 天皇誕生日

明けましておめでとうございます！
今年もよろしくお願いいたします。
1月に入り、少しずつ日が長くなってきました。
まだ冷え込む日もありますので、寒暖差で体調を崩さないようにしましょう。
引き続き、現場での作業や通勤時の運転にも気を付けましょう！

編集後記